
令和 2 年 第 4 回 臨時会

上富良野町議会会議録

令和 2 年 6 月 5 日

上富良野町議会

目 次

第 1 号（6 月 5 日）

○議 事 日 程	1
○出 席 議 員	1
○欠 席 議 員	1
○遅 参 議 員	1
○早 退 議 員	1
○地方自治法第 1 2 1 条による説明員の職氏名	1
○議会事務局出席職員	1
○開会宣告・開議宣告	2
○議会運営等諸般の報告	2
○日程第 1 会議録署名議員の指名について	2
○日程第 2 会期の決定について	2
○日程第 3 議案第 1 号 令和 2 年度上富良野町一般会計補正予算(第 4 号)	2
○閉 会 宣 告	7

令和2年第4回上富良野町議会臨時会付議事件一覧表

議案 番号	件 名	議決月日	結 果
1	令和2年度上富良野町一般会計補正予算(第4号)	6月5日	原案可決

○議事日程 (第1号)

- 第 1 会議録署名議員の指名について
第 2 会期の決定について 6月5日 1日間
第 3 議案第1号 令和2年度上富良野町一般会計補正予算(第4号)
-

○出席議員 (14名)

- | | | | |
|-----|-------|-----|--------|
| 1番 | 元井晴奈君 | 2番 | 佐川典子君 |
| 3番 | 高松克年君 | 4番 | 中瀬実君 |
| 5番 | 金子益三君 | 6番 | 中澤良隆君 |
| 7番 | 米沢義英君 | 8番 | 荒生博一君 |
| 9番 | 佐藤大輔君 | 10番 | 今村辰義君 |
| 11番 | 小林啓太君 | 12番 | 小田島久尚君 |
| 13番 | 岡本康裕君 | 14番 | 村上和子君 |
-

○欠席議員 (0名)

○遅参議員 (0名)

○早退議員 (0名)

○地方自治法第121条による説明員の職氏名

- | | | | | | | |
|---|---|-------|-------|----------|--------|------|
| 町 | 長 | 向山富夫君 | 副町長 | 石田昭彦君 | | |
| 教 | 育 | 長 | 服部久和君 | 企画商工観光課長 | 辻剛君 | |
| 総 | 務 | 課 | 長 | 宮下正美君 | 教育振興課長 | 林敬永君 |
-

○議会事務局出席職員

- | | | | | | |
|---|---|-------|---|---|-------|
| 局 | 長 | 深山悟君 | 次 | 長 | 飯村明史君 |
| 主 | 事 | 真鍋莉奈君 | | | |

午前9時00分 開会
(出席議員 14名)

◎開会宣告・開議宣告

○議長(村上和子君) 御出席まことに御苦労に存じます。ただいまの出席議員は14名でございます。

これより令和2年第4回上富良野町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

◎議会運営等諸般の報告

○議長(村上和子君) 日程に入るに先立ち、議会運営等諸般の報告をいたさせます。

事務局長。

○事務局長(深山 悟君) 御報告申し上げます。

本臨時会は、6月2日に告示され、同日、議案等の配付を行い、その内容につきましては、お手元に配付の議事日程のとおりであります。

本臨時会に提出の案件は、町長から提出の議案1件でございます。

本臨時会の説明員につきましては、町長以下、関係者の出席を求め、別紙配付のとおり出席しております。

以上であります。

○議長(村上和子君) 以上をもって議会運営等諸般の報告を終わります。

◎日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長(村上和子君) 日程第1 会議録署名議員の指名についてを行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、議長において、

7番 米 沢 義 英 君

8番 荒 生 博 一 君

を指名いたします。

◎日程第2 会期の決定について

○議長(村上和子君) 日程第2 会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思いま

す。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(村上和子君) 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間と決定しました。

◎日程第3 議案第1号

○議長(村上和子君) 日程第3 議案第1号令和2年度上富良野町一般会計補正予算(第4号)を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長(宮下正美君) ただいま上程いただきました、議案第1号令和2年度上富良野町一般会計補正予算(第4号)について、提案の要旨を御説明申し上げます。

本件は、4月7日に閣議決定された「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に基づき、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援するために創設された総額1兆円の「地方創生臨時交付金」について、5月1日に交付限度額が明らかになり、当町の第1次分の交付限度額は、8,951万9,000円となったところであります。

臨時交付金については、本年4月1日以降に実施している、直接的な感染症対策事業の他、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活への支援、更には、次の段階としての経済活動への支援に活用できることから、8,951万9,000円の交付金に対し、事業費規模を1億5,500万円程度とした実施計画を作成し、国に提出したところであり、その実施計画に基づく事業実施に向けた予算として、本補正予算を調製したところであります。

次に、補正予算に計上した事業の概要であります。1点目は、これまでの自粛要請によって、地域の飲食業や関連する事業者の経済活動が大きく落ち込んでいることから、それらの地域経済活動の支援策として、プレミアム付き商品券発行事業を行おうとするものであります。なお、本事業については、落ち込んだ地域経済回復への支援策として、販売額を1億円、プレミアム率を30%としたところであります。

2点目は、これまでの「緊急事態宣言」の解除、自粛要請の終了などを受け、今後は更なる感染症予防対策を行いながら、普段の生活や事業活動などを行っていく「新しい生活様式」を意識した活動が必要となるところであります。

そのため、特に児童生徒に対する対応として、各学校における健康管理のための、非接触型体温計を必要数配備するとともに、放課後クラブにおける3蜜をさけるため

のテーブルの購入のほか、図書館での貸出による感染リスクの低減を図るため、図書用消毒・滅菌装置の整備を行おうとするものであります。

3点目は、今後において、万が一災害等により避難が必要な場合において、新型コロナウイルス感染症等の流行時期と重なった場合には、避難所運営に支障をきたすこととなることから、避難所における感染予防を目的とした衛生用品を始め、避難者の感染防止のためのパーティションや避難者の状態による収容場所の確保のために使用できる屋外テントなどを購入しようとするものであります。

4点目は、新型コロナウイルス感染症を起因とし、町立病院での感染症対策用の医療用資機材購入をはじめ、これまでに、令和2年度補正予算として議決いただき、事業を実施しております、経営環境対応特別融資資金等補給事業・中小企業経営継続奨励助成事業、おうちでグルメ上富良野事業の財源について、それぞれ交付金を充当するものであります。

なお、臨時交付金実施計画に掲載している事業のうち町内宿泊施設利用促進事業については、国が予定しているGOTOキャンペーン事業の実施時期などを見ながら、現在観光協会等と効果のある事業について検討しており、事業内容が決まりましたら、改めて、今後の補正予算の提出を予定しております。そのため、必要な財源については、交付限度額の8,951万9,000円から「町内宿泊施設利用促進」事業分の1,843万5,000円を差し引いた7,108万4,000円を歳入として計上するとともに、財源調整により、留保財源となる2,426万4,000円については、予備費に充当することで、補正予算を調製したところであります。

それでは以下、議案の説明につきましては、議決項目の部分についてのみ説明をし、予算の事項別明細書につきましては省略をさせていただきますので、御了承願います。

議案第1号をごらんください。

議案第1号令和2年度上富良野町一般会計補正予算(第4号)。

令和2年度上富良野町の一般会計の補正予算(第4号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)。

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7,108万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ80億4,817万3,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

1ページをお開きください。

第1表につきましては、款ごとの名称と補正額のみ申し上げます。

第1表 歳入歳出予算補正。

1、歳入。

14款国庫支出金7,108万4,000円。

歳入合計、7,108万4,000円

2、歳出。

2款総務費1,296万2,000円。

4款衛生費0円。

7款商工費3,200万円。

9款教育費185万8,000円。

12款予備費2,426万4,000円。

歳入歳出合計、7,108万4,000円。

以上で、議案第1号令和2年度上富良野町一般会計補正予算(第4号)の説明といたします。

御審議いただき、議決くださいますようお願い申し上げます。

○議長(村上和子君) これより議案第1号の質疑に入ります。

7番米沢義英君。

○7番(米沢義英君) まず、防災備品等について、7ページなのですがお伺いしたいと思います。

防災備品等、コロナ感染予防対策含めて、消耗品等が購入されるという状況となっています。そこでお伺いいたしますが、これは必要最小限の物品の購入なのかと思いたしますが、この点どうなのか。また、パーティション等は各主要な避難施設等に配備されるようなそういった数という形で購入数が設定されているのかどうなのかお伺いします。

また、パーティション等が避難施設に配置されますと、元々それぞれの施設に避難する人たちの容量、枠、人員がありますが、パーティションが設置されることによって幅のあるものですからみだす、オーバーするという可能性言っておれば収容できない人員も出てくるかと思いますが、そういうものに対応した、おそらく避難計画等が策定されていて、こういった備品等、消耗品等の予算の確保という形になっていると思いますが、その避難計画というのは今、どんな状況で進行、計画されているのか合わせてお伺いしたいというふうに思います。

次にプレミアム商品券であります。非常に消費喚起するという点で大いに賛成であります。この点で全般についてお伺いしたいところなのですが、この間、町においては、商工企業の資金の融資条例等が補正予算で計上されてきました。それぞれ非常に助かっているという声も聞かれております。今後、今、これから、まだ、収束の目

途がたないという状況の中で、今後また、状況によっては新たな補正対応する予算の補正というのが考えられているというふうに思います。この中では、宿泊に関わるものというものが今後となっておりますが、合わせてこの点では、非常に経営されている皆さん方が、やはり資金繰りが大変だということが見受けられます。そういう意味では一定程度事業規模に応じた給付の在り方、前回もそうだったのですが、さらに、状況に応じては給付の額の設定の見直しというのも当然必要になってきているのではないのかというふうに感じられますが、そういうものも含めて今後の対応等、お伺いいたします。なにせこれから上富良野町が少しでも持続的な経済を保つためにはコロナウイルス対策をはじめ、経済的な支援というのが何よりも求められているというふうに思いますのでこれらの点についてお伺いいたします。

○議長（村上和子君） 総務課長、答弁。

○総務課長（宮下正美君） 7番米沢議員からありました1点目の防災備蓄の部分の購入の御質問に私の方からお答えをいたします。

まず、最初に数量の関係でございます。こちらにつきましては特に衛生用品について、各避難所ごとに必要数を想定をしまして今回の予算というところに載せたところでございます。ただ、多くの部分につきましてはいわゆる消耗品でございますので、都度都度不足がすればその都度発注と言いますか補充をしていかなければならないということで、当面必要数ということで予算のほうは組み立てております。

あと、パーティーシートの部分でございます。こちらにつきましては、実際には予定しております部分で行きますと今回、300枚のパーティーシートの購入ということで、書いてございますが、これですべて足りるかと言いますと足りないのかなというふうに思います。ただ、今実際には避難所ごとにパーティーシートを使って、避難者ごとの区域をした場合にはどの程度、計画があるのかと言われましたが、どのように配置をすれば何人収容できるというものを今、図に落としながら、内部でどのようなことで、できるかということも想定をしておりますし、あと、避難所、小さい避難所大きい避難所がありますので最終的には第2次避難所が社教センターになってますので、今の計画の中では、社教センター全部の施設を使ったらどの程度、どういうふうに収容できるのかというのを中心にしながら計画の方については内部で検討させていただいているところでございます。

以上です。

（「コロナ対策関係の避難計画については」の声あり）

避難計画につきましては、今言った、避難者ごとの人数

についてはそういうふうに想定をしております。

あと、コロナ対策でいきますと普段各避難所に避難所運営マニュアルというものを作っていたんですけども、こちらにつきましては、先日内部で検討しましていわゆるコロナ感染症対策に応じた避難所マニュアルというのも確認をさせていただいてこれから各避難所、あと、住民会長さんの方にもお知らせをすることで予定をしているところでございます。ただ、現時点での計画でございますので、状況が変わりましたら都度都度見直ししながら対応していきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（村上和子君） 企画商工観光課長、答弁。

○企画商工観光課長（辻剛君） 7番米沢議員の2点目の質問にお答えさせていただきます。緊急経済対策に関する御質問かなというふうに思います。

今後、どういう、また、状況になってくるのかということについては大変不透明な状況であるということもまず、あるのかなと思います。議員おっしゃったように事業規模によりまして給付金の見直しの設定とも、必要じゃないかという御質問でございましたけれども、現在、この間、国や道によりまして給付金でありますとか休業補償の関係でありますとか色々できてございますので、それぞれに条件が合致した事業者については、都度、町内の事業者さんも申請をしているというような状況もうかがっておりますので、まず、こちらの方については、経過を見る必要があるのかなというふうに思います。ただ、先ほど言いましたようにこれが長期化するというようなことになれば、これから予定されている国、道の方に活性化策もあるんですけどもそういうような情勢等も踏まえながら地域事情に合わせた施策というものを合わせて打っていかねばならないのかなというふうに思いますし、米沢議員がおっしゃっていたものも可能性として必ず入りにするものではないというふうに思っておりますので、時々に応じた対応をぜひ、これからはしっかりと取っていきたくてございますので御理解いただきたいと思います。

○議長（村上和子君） ほかにございませんか。

8番荒生博一君。

○8番（荒生博一君） 今回、地方創生臨時交付金の実施計画概要ということで、手元に渡された資料に基づいてお話なんですけれども、今回、事業規模1億5,000万程度で一時交付金の額が9,000万円弱ということで、九つの事業が実施計画に示されております。国においても、5月1日以降に自治体に5月20日、一次提出期限ということで時間のない中、色々と考えられた事業実施計画でもあると思いますけれども、今回、一次交付に際して

提出したこの事業以外にこれを作り上げる中で、漏れた事業というのは、いくつぐらい候補があったのかというのが1点。

それから、先般、副町長からもお話がありました、5月27の閣議決定に伴う、交付金の拡充ということにおいて、2兆円規模の予算が決まっているわけですがそれでもそれに向けた二次申請が自治体としても必要になってくると思います。そのあふれた事業含めて現在、その二次申請に向けた事業概要というのはどの辺まで計画が進められているのか。

あと、3点目としてたぶんまだ示されていないと思いますけれども二次交付金の支給時期であると予算等は現在、情報が入っているのかこの以上3点確認させていただきます。

○議長（村上和子君） 総務課長、答弁。

○総務課長（宮下正美君） 8番荒生議員からありましたいわゆる実施計画に伴いますご質問ということでお答えをさせていただきます。

まず、1点目の今回お示しをしました概要の中で漏れた事業がどの程度あるのかというところでございますが、認識としましては、ここに本来入れるべき事業として漏れたというものについては今時点ではないと思っています。ただ、一点検討材料の中であったのは、いわゆる学校のGIGAスクールの部分につきましては、この一次の部分でどうこうするのかという検討はございましたがこちらにつきましては、国のGIGAスクールの前倒しの関係ですとか、それぞれの補助金の関係がありましたので、最終的には一次計画、最初の計画から計画にはGIGAスクールは入れなかったという結果になってございます。

次に二次交付の検討についてどういうふうに行っているんだというところでございますが、まず、二次交付の部分につきましては、基本は一時交付の追加交付ということで私どもは想定していますので、今回、お示しをしたこの1億5,000万の部分の事業費もいわゆる二次交付の金額をまず、一定程度あてにしていると言いますか、その分も踏まえた中で、事業費規模をまず設定をさせていただいているというのが一つと、あと、これに加えて次の展開ということで、これはいろいろなものを今、それぞれのところに町長の方から指示が出ておりますが、今の時点で、こういうものをやりますということで具体的にちょっとと言えるものは私のところではまだ持ち合わせていないということで今、これから集約をかけるという形になってございます。

あと、二次交付の時期なんですけれども、こちらは今時点で、国会の状況もあります、それを受けてどういうふう

に言われてくるのかあるいは、今回ちょっと規模的にもあるのと、あと、今までのいわゆる臨時交付金で一次、二次っていうのがなかったものもあるのでいわゆる完全に積み上げなのか別な交付金で立ち上げてくるのかというのがわかりづらいところがありますので、そこら辺については国の情報を把握次第また、皆様の方にお知らせをしたいというふうに思っておりますので、時期という今の時点ではわからないというふうになっております。

以上です。

○議長（村上和子君） ほかにございませんか。

4番中瀬実君。

○4番（中瀬実君） 今回、コロナの対策の関係で図書館運営費の中の備品購入の関係でお尋ねしたいと思います。

貸出本の滅菌をするために導入される機器についてありますけれども、今まではそういった機器がなかったわけですが、今まではそういった対策がまったく取られていなかったのか。ということと、それから、この機器については何社もこういった機器を作っている会社があるのか。あるとすればこの機器を買おうとするメーカーを決める理由っていうかなんかについてお答えを尋ねると、これまでの本をどれくらいの本を、どれくらいの時間滅菌すると効果が現れるのかということが分かれば教えていただきたい。

○議長（村上和子君） 教育振興課長答弁。

○教育振興課長（林敬永君） 4番中瀬議員の御質問にお答えさせていただきます。

今までの消毒の在り方につきましては、本が戻ってきた時点で、職員が一冊ずつアルコール消毒をいたしまして、書架へ戻す形をとってございます。今回、購入を考えているものについては、図書館の方に入っている本屋、いわゆる名称の方忘れてしまいましたが、専用で本を入れているメーカーの方の、その中で、こういう図書の消毒器を扱っているということをお聞きましてそのメーカーのものをまず、一つの購入する分母として見まして、道内で取り扱いの会社がないか探したのですが、道内では扱っている会社がないので、道外の方に、道外も何社程度あるかまでは私の方も調べてはおりませんが、そんなにたくさんあるというふうには聞いてございません。

それと、今回購入させていただくもので、どの程度滅菌ということでございますけれども今回、一回あたり30秒の時間を要する滅菌の消毒器でございます。6冊を開いた状態で一気に入れまして下から風で本に自然に付着したほこりとかごみとかそういうものを送風機で除去する。そして、上部のところ紫外線で4隅と上のところに6本紫外線のバーがありましてそこで照射をしまして滅菌するという仕組みとになってございます。現状ではそう

いう中で、不特定多数の方が利用されるものについて、戻ってこれは職員が滅菌をする。貸出すときに借りられる方が不安があれば滅菌器で自ら消毒していただいて、ご自宅に持ち帰って読書を楽しんでいただくというふうに考えてございます。

以上でございます。

○議長（村上和子君） ほかにございませんか。

1 番元井晴奈君。

○1 番（元井晴奈君） プレミアム商品券事業についてなんですけれどもプレミアム商品券の使用期限が今、4 月 10 月末までとのことなんですけれども、今後、コロナウイルスに関しては、第 2 波、第 3 波が来て、また、外出自粛やスナック等の営業自粛とかになる可能性も十分に考えられると思うんですけれども、そういった中でそうなった場合、購入者は期間中に商品券を使い切らなきゃいけないということになるけれども、外出自粛の要請がでてるとかそういった場合も想定されると思うのですが、もし、そうなった場合において、外出自粛等の要請が出た場合においては、その期間、使用期限を臨機応変に例えば使用期限を延期してくれるとかそういった臨機応変な対応をしていただきたいと思いますと思っているのですけれどもそういった何か対応策のお考えはあるのでしょうか。

○議長（村上和子君） 企画商工観光課長、答弁。

○企画商工観光課長（辻剛君） 1 番元井議員からの御質問でございますが、そのように是非したいというふうに考えておまして、状況に応じては延長も考えておりますが、とりあえず 4 か月という短期期での設定でまずは早く回すと。議員おっしゃっているようにそういう状況になれば延長も当然検討しながら運営したいと考えております。

○議長（村上和子君） ほかにございませんか。

9 番佐藤大輔君。

○9 番（佐藤大輔君） 私の方はプレミアム商品券の事業について 2 点御質問させていただきます。

先ほど、落ち込んだ地域経済の活性化が事業目的ということで、お伺いいたしましたが、プラスアルファの部分と言いますか、1 億 3,000 万にプラスアルファの消費。例えば買う予定のなかったものを買うだったりとか、する予定のなかったリフォームもするであったりとかそういった部分を見込んでいるのではないのかなと思います。過去の商工会が事業主体となっていたプレミアム商品券事業の経験からどのようなプラスアルファ部分経済効果を試算しているのかもし、わかればお伺いします。

もう 1 点は、仮に 3 分の 1 程度の発行にとどまった場合、2,000 万円、2,200 万円ですか、の事業費とい

うふうになった場合、交付金と一般財源のどちらを優先してそこに充当されるのかお伺いいたします。

○議長（村上和子君） 企画商工観光課長、答弁。

○企画商工観光課長（辻剛君） 9 番佐藤議員のプレミアム商品券に関します、2 点の御質問の 1 点目をお答えをさせていただきます。

経済効果という部分でございますけれども、そもそも事業の通常のプレミアム商品券とは入り口が違うというか通常というか例年々末やっているものについては、ちょっと後ろ向きというかですね、町外の流出を防ぐというような形です。そうですねやっているということと、ただ、今回は町内の消費を喚起するということがまず、事業の目的として少し違うところかなというところがございます。

あと、経済効果につきましては、どういう試算が良いのかなということいろいろあるとは思いますが、例えば、消費拡大によって雇用が確保されるでありますとかあと、例えば今、飲食店を中心に大変なことになってございますけれども様々な事業との相乗効果がでてくるのかなと思います。その経済活動が活性化することによって、必然と町内消費が回復していくんだとか、そういうところのものが、見えない効果としてあるのかなというふうには思います。ただ、数字の面では、額面発行というところがまず、直接的にあるのかなというふうには思いますけれども、金額的な波及効果というのはちょっとまだ、試算をできていないということで御理解をいただきたいと思っております。

○議長（村上和子君） 総務課長、答弁。

○総務課長（宮下正美君） 9 番佐藤議員からありました 2 点目の財源調整の話につきましては、私の方からお答えをさせていただきますが、この交付金につきましては基本的には 10 分の 10 交付金という形になってございますので、事業費が減った場合につきましては、基本は交付金が優先をするという形で交付金につきましては、8,951 万 9,000 円を最終的には全額使い切るというような形で予定しております。

以上です。

○議長（村上和子君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ、質疑を終了いたします。

討論を省略し、これより議案第 1 号を採決いたします。

本件は、原案のとおり決定することに賛成の方は、御起立願います。

（賛成者起立）

○議長（村上和子君） 起立多数であります。

よって、議案第 1 号令和 2 年度上富良野町一般会計補正予算（第 4 号）は、原案のとおり可決されました。

◎閉会宣告

○議長（村上和子君） 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

これにて、令和2年第4回上富良野町議会臨時会を閉会といたします。

午前9時32分 閉会

上記会議の経過は、議会事務局の調製したものであるが、その内容の正確なる事を証するため、ここに署名する。

令和2年6月5日

上富良野町議会議長 村上和子

署名議員 米沢義英

署名議員 荒生博一